

# 知多半島

生態系ネットワーク協議会

事例を積みかさね  
自然をつなぎ  
生きものとともに暮らす

## Chita Peninsula

半田市、常滑市、東海市、大府市、  
知多市、阿久比町、東浦町、  
南知多町、美浜町、武豊町

知多半島生態系ネットワーク協議会は、  
2011年(平成23年)1月に設立されました。  
40団体(2021年(令和3年)9月現在)が、  
生物多様性の保全や創出などのモデル事業  
のアイデアを実行し、生物多様性の活動の  
ヒントとなる事例を発信しています。

協議会テーマ

ごんぎつねと住める  
知多半島を創ろう



キツネ



カブトムシ



ギンヤンマ

地域の生態系

緑地、里山、湿地、  
キツネ、ギンヤンマ、  
カブトムシ



学生と企業とが連携した外来種駆除



企業緑地体験イベント  
[LOVE! GREEN DAY]



東浦自然環境学習の森



フリーペーパー「エコレコあいち」



アニマルパス(株豊田自動織機東浦工場)



臨海部の緑地帯

<おもな活動>

- ・臨海工業地帯の緑地整備
- ・東浦自然環境学習の森での保全活動
- ・板山高根・壱町田湿地における保全活動
- ・半島南部におけるモウソウチク対策

多様な環境を背景に、  
様々な活動が展開

知多半島は、北部地域に住宅街や工業地帯、中部・南部地域に田園地帯や山林など、多様な環境が広がるエリアです。各地で湿地保全や外来種対策、里山保全、生態系ネットワーク形成、象徴種であるキツネの研究、地域で問題視されている松枯れ対策の研究、自然観察・普及啓発など、様々な団体が生態系保全活動に取り組んでいます。

また、協議会の活動をきっかけとし、これらの団体同士の交流や活動連携もさかに行われるなど、生態系ネットワーク形成に積極的に取り組んでいることも特徴です。

若者や行政、企業、NPOなど  
多団体連携がさかんに

北部地域に広がる工業地帯の緩衝緑地を生物多様性豊かな環境に変えるため、地主である複数の企業や地域の学生、NPO、有識者が連携する「命をつなぐPROJECT」が中心となり、様々な活動に取り組んでいます。緑地の整備活動だけでなく、イベント開催やフリーペーパー発行を通じ、地域住民へ向けた生物多様性啓発にも取り組んでいます。この活動により、企業やNPO、若者の連携が促進され、企業と近隣NPOが協力して活動する機運が生まれています。

多団体連携により  
具体的な成果も

2018年(平成30年)には、NPO法人東浦里山支援隊の呼びかけに応じ、株式会社豊田自動織機の敷地内にアニマルパスが作られ、実際に利用するキツネの姿が確認されています。

美浜町ではモウソウチクの駆除活動に取り組む美浜町竹林整備事業化協議会によるモウソウチクの伐採、竹を利用したおもちゃ作り、里山の恵みを味わう収穫祭などの活動に地域の学生が連携しています。そのほか、自然観察イベントへの若者参加やNPO主催のフォーラムへの出席などもさかんで、大人たちによる活動の次世代への継承が期待されています。

【構成団体一覧】40団体

<大学等 3>

日本福祉大学、大同大学、中部大学

<企業等 16>

(株)IHI、愛知製鋼(株)、出光興産(株)愛知製油所、JXTGエネルギー(株)知多製造所、新日鐵住金(株)名古屋製鐵所、大同特殊鋼(株)知多工場、知多エル・エヌ・ジー(株)、中部電力(株)知多火力発電所、東邦ガス(株)知多製造部、(株)豊田自動織機、名古屋鉄道(株)、(株)Mizkan Holdings本社、(株)名鉄インプレス南知多ビーチランド、(株)LIXIL知多事業所、東レ(株)東海工場、(株)ZIZAI

<NPO等 10>

(NPO)愛知生物調査会、板山高根湿地環境ボランティア観察保存会、壱町田湿地を守る会、国際ロータリー第2760地区社会奉仕委員会、知多自然観察会、(NPO)日本エコロジスト支援協会、東浦里山支援隊、美浜町竹林整備事業化協議会、(NPO)愛知環境カウンセラー協会、(NPO)びすたーり

<行政機関 11>

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、愛知県